



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和 7 年度 第 2 回算数・数学科授業研究会

- 日 時：令和 7 年 7 月 3 日（木） 13:10～16:00
- 会 場：南相馬市立原町第三小学校（南相馬市原町区上町一丁目 13 番地）
- 参加者：小学校教員 10 名、中学校教員 3 名 計 13 名
- 内 容：○算数・数学科イノベーション人材育成推進教員による公開授業
（のこりはいくつ）授業者 南相馬市立原町第三小学校 教諭 鈴木 孝成
○グループ別による事後協議会
○指導助言

【研修のまとめ】

事後研究会では、前回に引き続き、参観者のみなさんが授業者の思いや本時の手立てに寄り添い、授業者の努力や工夫を積極的に見つけたり、自分事として授業を捉え授業改善に向けた建設的なアイデアを進んで伝えたりする姿が見られたことが、授業者と参観者の両者にとって大変有意義な時間となりました。今後も効果的な伴走支援の推進に努めますので、各校の事後協議会においては、授業者にとっては大きな励みとなり、参観者にとっては自分事の授業実践につながる設定を模索していただきたいと思います。

〔授業のポイント〕

- 「先生や友達から大切にされている」という実感をもつことができる、安心・安全な学級づくり（例えば、間違い大歓迎、互いを認め合い・助け合う学級の風土、等）が基盤となっている。
- 算数の授業で大切にしたい学び方や数学的な見方・考え方に関わる内容を、称賛したり価値付けしたりしている。

〔指導助言〕

- 実態に即した学習内容を精選していく必要がある。
（同種のものの数量と異種のものの数量 → 異種のものの数量をメインに学習問題を取り上げる）
- 子どもの「まちがい」や「つまづき」を生かした授業展開を意識し、子どもの発言やつぶやきに数学的な見方・考え方を見いだすとともに、価値付けていくことが大切である。

研修の感想

- ブロックの操作とお話が、きちんとつながっていたと思いました。
- 教師の声かけによって、子ども同士の対話が生まれることを学びました。
半具体物を用いることで、様々な考え方を整理しながら学んでいけることが分かりました。
- 数学の授業に生かせるものがたくさんあったと思いました。
- 算数の本質をもっと考えて授業に取り組むことが必要だと感じました。
- 本県で大切にしている単元全体を見通した評価計画・授業構想シート等による振り返りを参考に、授業改善を広めたいです。

